

<学校名> 白岡市立西小学校

<所在地> 白岡市西6-3

<電話> 0480-92-1405

<本事例の特徴>

本校は、平成19年度から23年度までの5年間、外国語活動の研究を進めてきた。教員の指導力の向上や、ICTの活用等を通し、コミュニケーション能力の向上に努めた。各学年の取組、ALT・JTEの活用、効果的な指導等について紹介する。

<具体的な取組や成果>

○各学年の取組

1～4学年は英会話体操を中心に年間10時間、5・6学年は「Hi, friends!」を使用し年間35時間の活動を進めている。

1学年

Hurry up. Wait.を使って
劇に挑戦した。



2学年

楽しいチャンツでHRTも
一緒に楽しむ。



3学年

How about you?
友達にインタビューする。



4学年

What's your favorite
food?



5学年

Do you have a red cap?
洋服屋さん挑戦する。



6学年

What time do you get
up?



○ALT・JTEの活用

JTEは毎時間、ALTは毎学期2週間、本校の外国語活動に参加している。ネイティブスピーカーとしての役割の他にも活用の場がある。

HRTとJTEが役割分担して
グループ活動を支援する。



ALTの自国の話をしてもらう。
児童の興味も高まる。



ALTと積極的にコミュニケーションする。
伝わることで大きな自信につながる。

○効果的な指導等

発達段階に応じて、効果的に指導・支援ができるように研究した。

デジタルソフトを使って



中学校英語教諭と活動



インターネットの画像を使って



自己評価カードを作成



手作り「かぶ」で劇作り



新しいゲームの開発